

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2019.12.19 No.357

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

「想定を超える洪水の発生もあり得る」 被害が拡大する風水害 対策強化を

■善福寺川周辺（北西部）の浸水予想地域



■旧井草川周辺の浸水予想地域



浸水予想地域は杉並区「わが家の水害ハザードマップ」より掲載。

浸水想定地域に12万5千世帯 指定避難所の拡充を求める

今年度、区は水害ハザードマップを改定し、最大規模降雨量時の大雨洪水等の浸水地域を記載。

浸水予想地域には12万5千世帯が生活し、浸水面積は9.7km²、区内約3分の1の地域に及びます。

区は0.5m以上の浸水域に対応する最大2万人の避難者を想定。2万2千人の収容スペースを確保していますが、0.5m未満の浸水でも避難せざるを得ない状況も想定し、避難所の収容人数を拡充するよう求めました。今後も杉並区の災害対策強化に向けて力を尽くします。

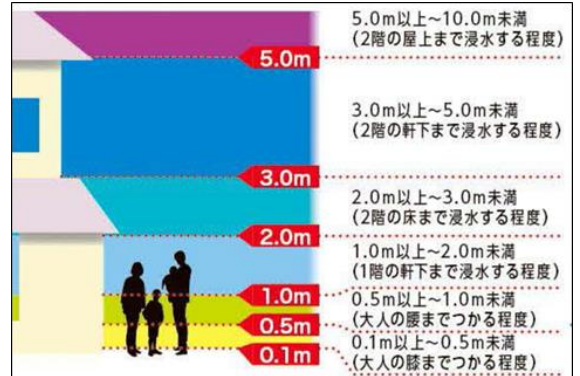
75ミリ対応 早期実現を

杉並区議会第4回定例会では、近年、巨大化する台風等による風水害対策について取り上げ、浸水対策の強化等を求めました。

近年の大規模水害の発生をうけ、H29年に水防法が改定され、想定される最大規模降雨量が上方修正されました。杉並区では時間最大降雨量を153ミリ、総雨量を690ミリの想定に変更。また、同法では「想定を超える洪水の発生もあり得る」という考え方に変更され、各自自治体に対策強化を求めています。

区内の総合的な水害対策は、都の豪雨対策基本方針に定められており、河川改修で時間50ミリ

■浸水深の見方



に進め、河川、下水道の整備促進を都に対して働きかけ、都と連携して取り組む」と答弁しました。

降雨対応、調節池等の整備で15ミリ対応、雨水浸透施設等の設置など流域対策で時間10ミリ対応、合計75ミリ降雨対応の目標が立てられており、早期実現が必要です。区の対策強化を求めたところ、区は「都の方針に沿い雨水流出抑制対策を積極的

住民サービスを削減しながら…

区長、議員等の給与・報酬は引上げ

住民生活との乖離は深刻… 区長・議会の姿勢が問われる

杉並区議会第4回定例会では、杉並区長や区議会議員の給与等の引上げ条例が提案され、党区議団といのち・平和、一部少数会派議員を除く、賛成多数で可決されました。

条例提案では、区長、副区長、教育長、区議会議員など特別職の給与・報酬は0.6%に引き下げるものの、期末手当の支給月数を0.15月引き上げることにより、年間ベースでは引き上げとするものです（引き上げの詳細は左記）。

国政でのアベノミクスの悪影響や消費税の10%への増税などにより、国民生活は厳しい状況が続いています。また、杉並区では今年度も国民健康保険料の値上げが行なわれました。4人世帯の国保料は9年間で2倍以上に引き上げられています。

■給与・報酬の引き上げ額の詳細

給与及び議員報酬の引き下げと期末手当の引き上げにより、各特別職の年額は以下のように引き上げとなります。

- ・区長 : 約13万6000円
- ・副区長 : 約10万8000円
- ・教育長 : 約9万3000円
- ・監査委員 : 約8万3000円
- ・区議会議員 : 約6万7000円

さらに、給与・報酬の引き上げ条例が提案された第4回定例会では児童館5館の廃止等、住民サービスの削減も賛成多数で可決・強行されています（週刊ニュース356号に詳細）。

住民生活に負担を押し付ける一方、区長初め、区議会議員等の給与・報酬を引き上げることは到底許されず、区民の理解を得られるものではありません。住民生活と乖離した杉並区議会の責任が厳しく問われます。

■区長、議員等の給与・報酬の引上げ議案への各会派の賛否

会派	自民	公明	共産	立民	平和	無維	共生	杉わ	正理	杉耕	無	美杉	革新
議案77号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×

山田耕平地域「新春のつどい」

2月9日（日）13時～
井草地域区民センター
第1・2集会室（※予定）
詳細は、改めてご連絡します。
ぜひ、ご参加ください。

今週のコマ

毎年のように父母会やPTA

我が家で猛威を振るったインフルエンザは、なんとか収束しました。しかし、型違いも大流行しているため、まだまだ不安です。

さて、子どもが3人もいると、毎年のように父母会やPTAの役員を務めることとなります。昨年は「保育園父母会：会長」、今年「同：副会長」、来年は息子の小学校のPTA。週明けにPTA役職に関する事前協議が行なわれるのですが、どうなることか今から不安です…（苦笑）。何にせよ、力を尽くすのみです！

令和元年度 区胃がん検診胃内視鏡検査は中止

杉並区では、胃がん検診の実施体制や精度管理の見直しを検討してきましたが「胃内視鏡検査」については、今年度の実施を中止することが決まりました。「胃部エックス線検査」は実施中ですので受診をご検討ください。

来年度以降、安全で質の高い検診が実施されるよう求めます。

経緯と理由

昨年、区内医療機関が区肺がん検診において肺がんの疑いを見落としたことにより、受診者の方が亡くなりました。この間、健診（検診）の実施体制や精度管理について見直しを検討し、今年7月、胃内視鏡検査を除く区民健診・がん検診については改善の上、再開されています。

一方、胃内視鏡検査については、なお課題があり、胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会を立ち上げ、再開に向けた検討を続けてきました。同審議会の答申では、検診実施医療機関と2度目の読影を行う医療機関を分けることとしましたが、医療機関の間での画像情報等を送受信するシステム構築に時間を要するため、今年度の胃内視鏡検査を中止することになりました。